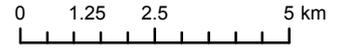
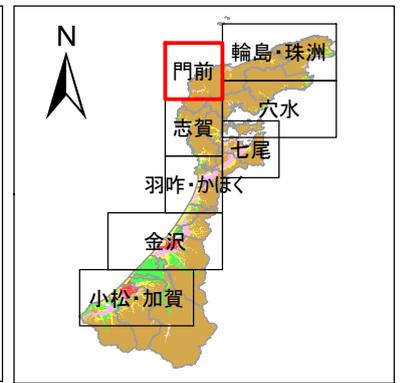
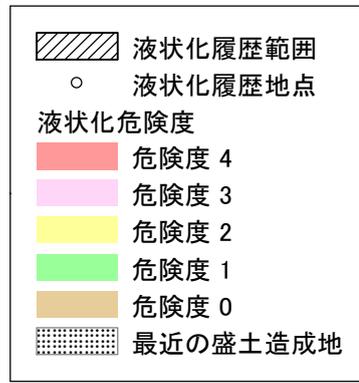


門前地域

液状化しやすさマップ



本地域は能登半島北西部に位置します。地形は主に山地と丘陵地からなり、低地は小規模なものが多くなっています。門前町を流れる八ヶ川沿いには比較的幅を持った谷底平野が広がっており、2007年の能登半島地震(震度6強)では明確な液状化現象がありました。

本マップで想定している震度5強程度の地震動では液状化の可能性は低いといえますが、より大きな地震動に対しては液状化の可能性のある範囲と想定されます。

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000(地図画像)及び数値地図 25000(土地条件)を使用しています(承認番号 平25情使 第80号)。またこの図面は、5万分の1土地分類基本調査(地形分類図) 石川県発行(1982~2006)の一部を利用して作成しています。

液状化履歴は、「若松加寿江(2011) 日本の液状化履歴マップ 745-2008(東京大学出版会)」によります。本マップには過去の液状化履歴が○印でプロットされていますが、原典(若松、2011)では地震毎にシンボルが変えられており、また液状化が発生した地点の確実度によってもシンボルの大きさが変えられています。本マップではこれらを区別せずに同じ記号でプロットしています。

